

地域おこし協力隊活動報告書

活動団体	穎娃おこそ会
役職	
氏名	佐藤利江子
着任日	令和 5 年 6 月 1 日

活動月	令和 5 年 1 0 月（着任 5 ヶ月）
主な活動	1.空家等対策推進地域会議への参加 2.資格取得のための勉強

1. 空家等対策推進地域会議への参加

空き家の現状や問題点と各地域で行われている対応を知ることができました。どの地域でも同じような問題を抱えて様々な取り組みを行っていますが、なかなか成果が上がらない状況でした。また、空き家に新たな価値を見出し再利用されているケースもありますが、古民家が多く、空き家の多くを占める古民家ではない普通の住宅を今後どうしていくかが課題だと考えられます。また、未登記物件については参加自治体の多くが空き家バンクへの登録を受け付けていない状況でした。登記がハードルとなり登録件数が上がらないという意見が出されましたが、2024 年 4 月に行われる相続登記の義務化により、どの程度改善が見込まれるかが一つのポイントのように思われます。

現在の日本人の家に対する意識の持ち方も空き家問題の背景にあると考えられます。戦後の高度経済成長に伴い、外で賃金を稼ぎ、夢はマイホームの購入、きれいな家が当たり前、家に何かあれば専門業者に頼む傾向がしばらく続いていると思います。この考え方が日本の衛生水準や職人のレベルを上げてきた一方で、過剰な衛生意識による中古物件への拒絶感を生み、壊れた場所は自ら手直しをするといった思考が衰弱してしまったようにも感じます。一方で田舎ぐらしや移住などもよく聞かれる言葉になりました。また建築機器が普及し情報がたやすく得ることができるようになったため DIY も身近なものとなりました。暮らしを楽しむ文化が少しずつ広がってきたように感じます。

このような中で私に求められているものは何か、もっと学びながら探求していこうと思います。

2. 資格取得のための勉強

今後、空き家に携わる上で不動産に関わる制度を知っておく必要があると感じ、宅地建物取引士の資格試験を受験しました。登記や相続は言葉だけを知っていたのですが、どのような制度があるか内容を知ることができました。また、空き家の改修には電気工事も関係してくるため、家庭の配線などが行える電気工事士2種（筆記）を受験しました。来月は技術試験があるため、技術を身に付け資格を取得し安全な工事ができるように努めていきたいです。